

## ご寄附のお申し込み方法

### ● 個人の皆様

ご寄附の方法は、以下の種類をご用意しております。いずれの場合も、「特定基金：ジェンダー平等支援事業」をご指定願います。

#### 銀行・郵便局で振込用紙による方法

本パンフレットに同封の振込用紙をご使用ください。または下記 Development Office (DO 室) にご連絡いただきますと、振込用紙(名古屋大学基金のしおり)を送付させていただきます。

#### クレジットカードによる方法

「名古屋大学基金」の HP (<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>) からお申込みください。ご利用いただけるカードは、VISA、MasterCard 等です。毎月定額をご寄附いただくことも可能です。

#### インターネットバンキング、ATM、コンビニによる方法

「名古屋大学基金」の HP (<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>) からお申込みください。

### ● 法人・団体の皆様

名古屋大学 Development Office (DO 室) までご連絡ください。

## 寄附金に対する税法上の優遇措置

- 税法上の優遇措置があります。「名古屋大学基金」の HP (<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>) をご覧ください。

## 寄附者への特典

- 名古屋大学が行う男女共同参画推進事業やイベントにご招待します。
- 名古屋大学男女共同参画センター HP に、寄附者・寄附企業等のお名前を掲載させていただきます。掲載の可否については、ご希望に応じます。ご寄附 20万円以上の場合、ご希望により、HP 掲載に加えてご寄附者名を銘板により豊田講堂内に掲示させていただきます。

日頃から、ご協力をいただいている皆様。  
今後も継続的な支援をお願いします。

## 問い合わせ

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学

### Development Office (DO室)

TEL : 052 (789) 4993

Eメール : [kikin@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:kikin@adm.nagoya-u.ac.jp)

### 男女共同参画事務局

TEL : 052 (789) 3939

Eメール : [kyodo-sankaku@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:kyodo-sankaku@adm.nagoya-u.ac.jp)

HP : <http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>

## 〈名古屋大学特定基金〉

# ジェンダー平等支援事業

女性教員比率や上位職比率を増やして、  
名古屋大学におけるジェンダー平等の実現を目指します。

2020年までに 20%



2030年までに 30%

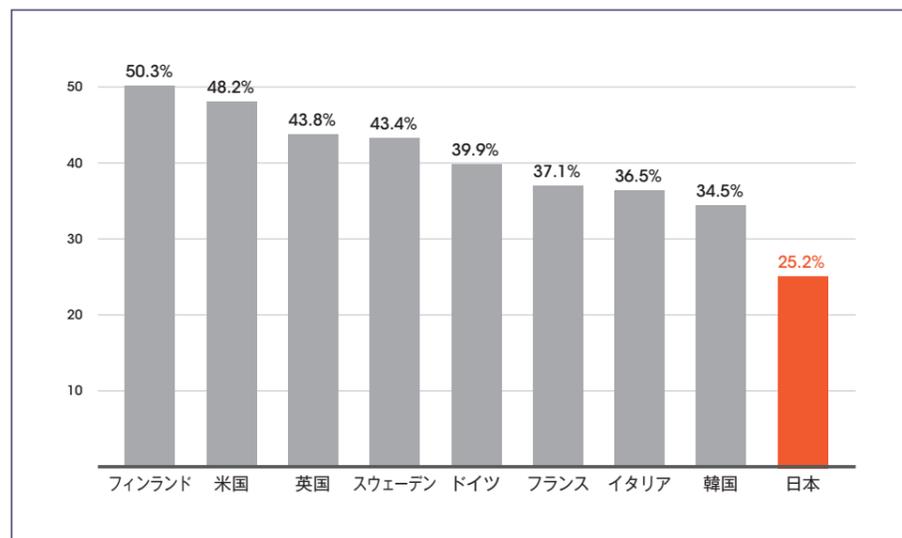


## ■ 設立の目的

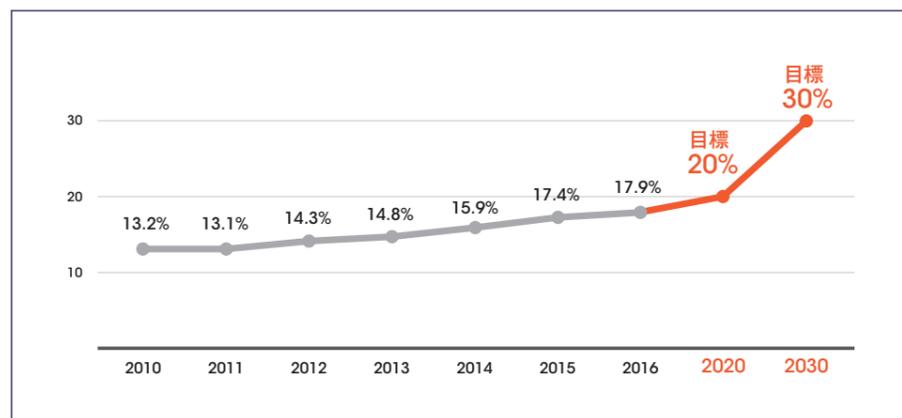
ジェンダー平等（＝男女共同参画）社会の実現は、我が国の最重要課題の一つです。日本では女性の社会的活躍が遅れていますが、大学も例外ではありません。ほとんどのOECD 諸国では、大学教員の女性割合は4割前後に達していますが、日本はOECD 諸国中最下位の25.2%にしかすぎません。ちなみに、本学の女性教員比率は17.9%（平成29年5月時点）であり、国立基幹7大学の中ではトップに位置しますが、全国平均には到達していないのが現状です。

本学は、性別によらず、誰もがその個性と能力を十分に発揮できるジェンダー平等な大学を目指します。そのためには、数値目標を設けて確実に女性教員の数を増やすとともに、上位の管理職や意思決定を行う地位への女性の参画を拡充するためのインセンティブ施策を行うために、本基金を設立しました。

### ■ 大学教員の女性割合（OECD統計、2012、単位%）



### ■ 名古屋大学の女性教員割合



## 大学の教育・研究に、ジェンダー平等の推進がなぜ重要なのか

大学は将来の日本の発展を担う人材育成の場であることから、大学における教育・研究において、ジェンダー平等意識の醸成が必要不可欠です。少子高齢化社会への対策、日本経済のさらなる発展等、より良い21世紀の日本社会を構築するための方策を考える上でも、ジェンダー平等の推進が重要です。

本学の女子学生割合は約3割ですが、女性ももっと社会進出し、さまざまな分野のリーダーとなるには、本学の女子学生の割合を増大させる必要があります。そのためには、よきロールモデルとなる女性教員の存在がとりわけ重要です。目指す分野に女性

のロールモデルがいることが、女子学生の進路選択に大きな影響を及ぼします。女性教員比率を高めることは、本学の女子学生割合を向上させることに繋がります。

多様な視点や優れた発想を取り入れ、科学技術・学術活動を活性化するために、ダイバーシティ（多様性の尊重）の必要性が強調されています。とりわけ人口の半分を占める女性の能力を最大限活かすことにより、多様な角度から問題解決にあたることができ、これまでになかった革新的・創造的な発想が生まれ、ひいては教育・研究の向上やブレイクスルーに繋がると考えます。

## 名古屋大学におけるジェンダー平等推進

名古屋大学は、男女共同参画を積極的に推し進めており、学内に保育園や学童保育所を全国でもいち早く設立しました。また、女性限定公募を始めとした女性研究者の比率を高めるさまざまな取り組みに加え、文理の垣根を超えた教育・研究体制による女性リーダー育成プログラムの実施、理系女子学生を応援する活動、

産学官連携による男女共同参画推進活動、ワーク・ライフ・バランス促進のための環境整備など、幅広い活動を行っています。「NUMIRAI 2020」と題した2020年までの本学の目標において、女性教員比率20%、女性管理職の登用推進を掲げています。また本学は、2030年までに女性教員比率30%以上を目指しています。

### 数値目標

名古屋大学において設定されている比率目標

- 1 本学全体の女性教員比率目標（特任教員を含む）**

**17.9%（2016年5月現在）から、2020年までに20%以上、2030年までに30%以上にする。**
- 2 本学の教職員における女性管理職比率目標**

本学の女性活躍推進に関する行動計画およびHeForSheコミットメントに明記されているように、**11.6%（2016年5月現在）から、2020年度までに20%以上にする。**
- 3 部局毎の女性教員比率目標（特任教員を含まない）**

本学の男女共同参画推進専門委員会が設定し、本学が承認した数値目標を用いる。

### 支援事業内容

数値目標の達成や、女性教員の新規採用等を行った部局・組織等に対して、奨励金を付与します。付与期間は、2017年4月24日から2020年度末までを当面の期間とします。

- 1 部局毎の女性教員比率目標の達成
- 2 女性教員を新規に採用
- 3 女性教員を教授に昇進
- 4 意思決定に関わるポスト（理事・副総長・研究科長等）に女性教員を採用
- 5 トップリーダー育成のためのマネジメント・セミナーに女性教員を派遣

2020年までに 20%

2030年までに 30%